

横手市議会定例会  
市長所信説明

平成29年6月

横手市

## 第2次横手市総合計画

# みんなの力で 未来を拓く 人と地域が<sup>ひら</sup>く<sup>かがや</sup>くまち よこて

### 基本計画 政策・施策

**政策1** 伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます  
【健康福祉】

- |                            |                         |
|----------------------------|-------------------------|
| 【施策 1-1】 子育て支援の充実          | 【施策 1-4】 障がい者（児）福祉の充実   |
| 【施策 1-2】 健康な心と体づくりの推進      | 【施策 1-5】 低所得者福祉の充実      |
| 【施策 1-3】 健康でいきいきとした高齢社会の推進 | 【施策 1-6】 福祉を支える人材の確保と育成 |

**政策2** 学びの充実とスポーツの振興により、生きる力と豊かな心を育みます  
【教育文化】

- |                                 |                                 |
|---------------------------------|---------------------------------|
| 【施策 2-1】 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実 | 【施策 2-4】 活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進 |
| 【施策 2-2】 安全で安心して学べる教育環境の整備      | 【施策 2-5】 よこての伝統文化の継承と再発見        |
| 【施策 2-3】 元気なまちを築く生涯スポーツの促進      |                                 |

**政策3** 豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます  
【生活環境】

- |                                |                        |
|--------------------------------|------------------------|
| 【施策 3-1】 安心して暮らすことのできるまちづくりの推進 | 【施策 3-3】 災害に強いまちづくりの推進 |
| 【施策 3-2】 美しい自然環境と快適な生活環境の保全    | 【施策 3-4】 循環型社会の一層の推進   |
|                                | 【施策 3-5】 エネルギーの地産地消の推進 |

**政策4** 魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります  
【産業振興】

- |                     |                            |
|---------------------|----------------------------|
| 【施策 4-1】 魅力ある農林業の振興 | 【施策 4-4】 観光・物産資源の発掘と発信     |
| 【施策 4-2】 活気ある商業の振興  | 【施策 4-5】 企業誘致の推進、企業留置と雇用対策 |
| 【施策 4-3】 活力ある工業の振興  |                            |

**政策5** 暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます  
【建設交通】

- |                           |                                  |
|---------------------------|----------------------------------|
| 【施策 5-1】 雪国の快適な暮らしの実現     | 【施策 5-5】 安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理 |
| 【施策 5-2】 快適な移動空間の実現       | 【施策 5-6】 市民がくつろげる公共空間の整備         |
| 【施策 5-3】 市民が利用しやすい公共交通の充実 |                                  |
| 【施策 5-4】 地域拠点整備による市街地の活性化 |                                  |

**政策6** やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます  
【市民協働】

- |                                  |                       |
|----------------------------------|-----------------------|
| 【施策 6-1】 市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実 | 【施策 6-3】 情報を共有する環境の整備 |
| 【施策 6-2】 男女が尊重し合う社会づくり           | 【施策 6-4】 市内外との交流連携の推進 |

**政策7** 横手を思い、市民の思いを実現させる創造的な行政経営を進めます  
【行政経営】

- |                                 |
|---------------------------------|
| 【施策 7-1】 市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の確立 |
| 【施策 7-2】 財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進   |
| 【施策 7-3】 戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実   |

## 目 次

|                                    |    |
|------------------------------------|----|
| <b>1. はじめに</b> .....               | 1  |
| <b>2. 新たな施策等への取り組みについて</b> .....   | 3  |
| (1)横手市病院事業看護師等奨学金貸付制度について.....     | 3  |
| <b>3. 平成29年度事業等の進捗状況について</b> ..... | 4  |
| (1)国民健康保険について.....                 | 4  |
| (2)ねんりんピック秋田2017について.....          | 5  |
| (3)ホスタウンの推進について.....               | 5  |
| (4)新たな米政策に向けた取り組みについて.....         | 6  |
| (5)新たな農業委員会制度について.....             | 7  |
| (6)一般社団法人横手市観光推進機構について.....        | 8  |
| (7)地区交流センターについて.....               | 9  |
| (8)ふるさと納税について.....                 | 10 |
| <b>4. 補正予算について</b> .....           | 12 |
| <b>5. おわりに</b> .....               | 12 |
| <b>※行政一般報告編</b> .....              | 14 |

平成29年6月横手市議会定例会の開会にあたり、市政運営に関する基本的な考えとして所信を述べさせていただくとともに、当面する市政の重要課題についてご説明申し上げ、市民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 1. はじめに

初めに、横手デマンド交通事業において、一部事業者による不正の事実が発覚いたしましたことにつきまして、遺憾の意を表しますとともに、今後、横手市地域公共交通活性化協議会において、全容解明に向けた調査が継続されることをご報告いたします。

さて、今年の春は、桜が4月中旬に満開となり、市内各所で行われたイベントが多くのお客様で賑わいました。季節外れの寒さによる雪解けの遅れも心配されましたが、農家の皆様におかれましては、春の作業が概ね順調に進んでいると伺っております。

そのような中、4月17日から5月12日までの1か月間にわたり、市の施策などについて私自らがご報告申し上げ、地域の皆様と意見交換を行う市政懇談会を、市内13か所において開催させていただきました。

今年は、「まんが美術館のリニューアルと将来展望」「温泉施設の今後の運営方針」「横手市財産経営推進（FM）計画の必要性と

今後の展開」「企業誘致の現状」をテーマとして掲げ、ご参加いただきました計250人の皆様に、取り組みの具体的内容や進捗状況、今後の方向性等についてご説明申し上げました。地域の皆様からは、温泉施設の存廃やスポーツ関連施設の在り方に関するご意見、また、まんが美術館の将来性、企業誘致の進展に伴う若者定着への期待などのほか、これまでの市政運営や方針などに対し、前向きなご提案や励ましのお言葉を頂戴したところであります。

私は、地域の皆様や議会の皆様との忌憚のない意見交換を積み重ねながら、地域が抱える課題解決に着実に取り組むことこそが、次代を担う子どもたちに対する私たち大人の責任であることを強く意識しております。施策の優先順位、事業の選択と集中を常に念頭に置くことはもちろんのこと、時代の要請や地域の皆様の思いをくみ取り、柔軟かつ適切に対処することで、市民の皆様が誇りと豊かさを感じられる未来が開けると考えます。一時的に痛みを伴う改革や、様々な意見が交錯し根本解決に至っていなかった案件などに対しましても、持続可能な地域社会の構築を確固たるものとすべく、積極果断に取り組んできたところであります。

今後も引き続き、横手市の更なる発展や豊かな未来の実現を目指し、これまで以上に全市一丸となった取り組みを加速させ、確実な成果につなげてまいりますので、よろしくごお願い申し上げます。

## 2. 新たな施策等への取り組みについて

### (1) 横手市病院事業看護師等奨学金貸付制度について

横手市病院事業におきましては、質の高い医療サービスの継続的な提供と、入院・手術・検査等、高度で専門的な医療を行う急性期病院に必要な看護師を確保するため、看護師等奨学金貸付制度の導入を進めており、今議会に債務負担行為の予算を提案しております。

この制度は、看護師及び助産師の学校または養成所に在学し、資格の取得を目指す学生に対し、卒業後、横手病院や大森病院に勤務することを条件に、月額5万円を上限に無利子で貸付するもので、さらに、一定期間の継続的な勤務により、奨学金の償還を免除するものであります。

今年8月には利用申し込みの受け付けを開始し、平成30年4月から貸付実施することを目指しており、今後も、優れた人材の確保に努め、質の高い安定的な医療と、地域の皆様が安心して療養生活を送ることができる、切れ目のない総合的なサービスを提供してまいります。

### 3. 平成29年度事業等の進捗状況について

#### (1) 国民健康保険について

初めに、平成28年度の事業状況でございますが、歳出につきましては、一人当たりの保険給付費が30万7千円、前年度と比較して約2%の増加となり、平成27年度の対前年度比6%増に対し、増加幅が縮小いたしました。これは、高額な薬価が引き下げられたことに加え、特定健診等の健診事業や高血圧対策等の保健事業に重点的に取り組んだことにより、生活習慣の改善や疾病の重症化予防が図られたことが一因であると推察しております。

一方、歳入につきましては、国保税の平成28年度現年分収納率が前年度とほぼ同等の94%、滞納繰越分は約2ポイント増の28%となりました。一人当たりの課税所得も前年を上回っており、当初の歳入見込額を確保しております。

次に、本格予算となります今回の補正予算であります。課税所得が増加していること及び基金の適正な運用等により財源を確保できる見込みであることから、今年度の国保税率につきましては、「改定・第3期財政健全化計画」に基づき据え置くことといたしました。

今後も、効果的かつ効率的な保健事業を実施しながら、国保加入者の健康増進と医療費の適正化を図ってまいります。さらに、平成

30年度の国保制度改正に向けた基盤整備を行うとともに、新たな財政健全化計画を策定し、事業運営の安定化に努めてまいります。

## (2)ねんりんピック秋田2017について

今年9月9日から開催される「第30回全国健康福祉祭秋田大会ねんりんピック秋田2017」まで、約3か月となりました。

3日間の日程で行われる卓球交流大会には、500人を超える選手が出場するほか、同行する関係者も合わせますと、約1,500人の皆様が、全国から当市を訪れるものと想定しております。出場72チームの募集は5月末で締め切りとし、現在は、出場選手の年齢や参加資格の確認作業を行っているところであります。

また、「ねんりんピック秋田2017横手市実行委員会」におきましては、交流大会に合わせた「おもてなし事業」等の具体的内容についても検討が進められております。増田の蔵を巡る観光ツアーを企画するなど、当市を訪れる皆様を横手らしいおもてなしの心でお迎えし、より多くの皆様に横手ファンとなっただけできるよう、心に残る温かい交流大会を目指してまいります。

## (3)ホストタウンの推進について

インドネシア共和国のバドミントン合宿誘致を契機とした国際交



流を目指す活動の一環として、去る5月10日、横手南中学校の3年生10名が、修学旅行でインドネシア大使館を訪問し、同国の語学をはじめ、文化や慣習の違いなどを学んでまいりました。

また、同国と深く関わりがあり、当市でIT企業を営んでいる経営者とそのご家族の皆様にも、中学生と一緒に大使館を訪問していただきました。

さらに現在、秋田県と県バドミントン協会の協力を得て、競技力向上を図るためのスポーツ交流に関する基本合意書を、早期に締結する方向で、インドネシアバドミントン協会と協議を進めております。

この基本合意書締結を契機に、東京オリンピック直前合宿の誘致活動を強力に展開するとともに、将来にわたり、市民の皆様とインドネシア国民の皆様との友好が深められるよう、ホストタウン事業を推進してまいります。

#### **(4) 新たな米政策に向けた取り組みについて**

米の生産調整につきましては、これまで国が生産数量目標を県に配分し、県は市町村に、市町村は農業再生協議会を通じて農業者の皆様へ配分する仕組みでありましたが、平成30年度からは、行政主導による配分が廃止され、農業者の皆様とJAなどの出荷業者が、

販売状況や経営戦略に基づき、独自に生産量を決定する方式に変更されることとなっております。

このような状況の中、4月に開催された横手市農業再生協議会総会において、生産数量目標に代わる対応として、市が「生産の目安」を提示することが決定されました。提示の時期につきましては、県が県全体の「生産の目安」を10月中に示すこととしていることから、11月を予定しております。

なお、一等米比率の更なる向上等を目指す「横手米品質向上対策事業」につきましては、色彩選別機の導入助成に関する申請受け付けを、7月より開始することで準備を進めております。農業者の皆様と農業法人を対象とし、助成率は機器本体税抜き価格の15%、助成額は農業者30万円以内、農業法人については50万円以内と設定しており、今後、市報やホームページへ掲載するほか、JAなど出荷業者を通じて事業内容を周知してまいります。

## **(5)新たな農業委員会制度について**

平成28年4月1日施行の改正農業委員会法に伴い、農業委員の選出方法が「公選制」から市町村長の「任命制」となり、当市では、平成30年4月1日からの適用となります。

今年度は、「農業者、農業者が組織する団体等からの推薦による

候補者」および「公募による候補者」を評価委員会で選任し、議会の同意を得て市長が任命することになります。

また、各地域において、担い手への農地利用の集積や集約化、遊休農地の発生防止など現場活動を行う「農地利用最適化推進委員」を新設いたします。

これら新制度移行に向け、今年9月には、定数等を規定する新たな条例案を提案する予定としており、新年度からの農業委員会活動に停滞が生じないように、準備に万全を期してまいります。

## **(6)一般社団法人横手市観光推進機構について**

横手版DMOにつきましては、今年3月に一般社団法人横手市観光推進機構が設立され、4月24日には第1回通常総会が開催されたところであります。

横手市観光推進機構におきましては、多様な関係者との合意形成を図り活動を積極展開するため、市内の様々な業種の皆様と協議を重ね、会員の加入促進に努力されております。当市の力を結集し、ともに「観光地域づくり」を推進するためにも、より多くの団体や個人の皆様に会員になっていただくことを、強く期待するものであります。

また、推進機構内には、DMOとしての取り組みを加速させるべ

く5つの専門部会が設置されており、6月中旬には「情報発信」「誘客」「コンベンション」「物産」「地域連携」の分野ごとに、1回目の会合が開催される予定と伺っております。市においても、推進機構とともに各種施策を強力に進めるため、6月下旬を目途に、機構との連絡調整機能を担う部局横断型の体制を整える予定であります。

横手版DMOの活動が軌道に乗るためには、推進機構が掲げるコンセプト「<sup>ゆきあか</sup>雪灯りと<sup>しきさいさい</sup>四季彩々の食 ぬくもりの町並みめぐり」に基づき、主体性を持ち自律的・継続的に「観光地域づくり」を展開しながら、市全体を盛り上げていく取り組みを広げていただくことが、最も重要であります。

市といたしましては、推進機構との役割分担を明確にしつつも、しっかりとしたサポート体制を構築してまいりたいと考えております。今後も、必要な支援策を講じながら、市民の皆様には郷土への誇りと生きがいを持っていただき、また、訪れる皆様に満足していただける横手市を目指し、ともに活動を展開してまいります。

## **(7) 地区交流センターについて**

公民館本来の目的に加え、地域課題の解決に向けた協働による地域づくり体制の確立を目指す「地区交流センター制度」が、昨年度

まで試行されてきた5地域14公民館において、4月から本格スタートいたしました。

市では、地区交流センターごとに新たに組織された自主運営組織と委託契約を締結し、それぞれの地域において、地域住民の皆様が主体となった特色ある事業を支援しております。

また、センターが設置されていない地域の皆様に、各センターの取り組み状況等について情報提供したことにより、新たにセンター化に向けた動きが見られるようになってきております。

今後も、14センターの取り組みを検証しながら、課題の共有や情報交換などを継続し、市民の皆様との協働による総合的な地域づくり活動を積極的に推進してまいります。

## **(8)ふるさと納税について**

平成28年度のふるさと納税につきましては、寄附件数約6,500件、総額1億400万円を超える結果となり、平成27年度と比較いたしますと、件数にして約2.5倍、金額では約2倍となりました。これは、返礼品の拡充と、昨年7月に実施いたしましたインターネット上の窓口増設によるものと分析しております。

ご寄附いただいた皆様には、総合計画の「まちづくり基本目標」に基づく6つの分野から寄附金の使い道をお選びいただいております。

当市を応援してくださる皆様のお気持ちを、各種事業に最大限、活用してまいります。

返礼品につきましては、横手産の農産物に人気が集まっており、特にりんごや桃など果物へのお申し込みが、全件数の4割近くを占めております。リピーターの皆様からは、今年の生産分についてのお問い合わせを数多くいただいております、横手の大地が育んだ豊かな味わいが、全国の皆様に好評を博していることを実感しております。今年9月にはホームページのリニューアルも予定しており、広告力のレベルアップや利用する皆様の利便性向上を実現するとともに、返礼品提供事業者への支援体制も強化してまいりたいと考えております。

私は、当市の潜在能力を考慮するに、件数・金額とも更なる伸びが、十分見込めるものと大いに期待しているところであります。ふるさと納税制度による全国各地からのお申し込みは、事業者の意欲を喚起する効果も期待でき、それをきっかけとして事業者が商品開発や改良に継続的に取り組むことで、新たな返礼品の創出や高付加価値化が促進されるものと考えます。

今後も、ふるさと納税制度を積極的に活用しながら、地域事業者の育成や産業の活性化を図り、当市の知名度向上と横手ファンの更なる拡大を目指してまいります。

## 4. 補正予算について

今議会に提案しております一般会計補正予算についてご説明申し上げます。

今回の補正は、畜産競争力強化対策整備事業、街なみ環境整備事業などが主な内容となっております。

補正額は、1億7,700万円の増額で、補正後の歳入歳出予算総額は、499億8,300万円であります。主な事業と事業費を申し上げますと、

|                 |            |
|-----------------|------------|
| ◎ 保育所整備助成事業     | 1, 384万9千円 |
| ◎ よこて農業創生大学事業   | 1, 800万 円  |
| ◎ 畜産競争力強化対策整備事業 | 3, 475万3千円 |
| ◎ 観光誘客推進事業      | 804万1千円    |
| ◎ 街なみ環境整備事業     | 5, 900万 円  |

などであります。

## 5. おわりに

今議会に提案しております案件については、諮問案件1件、報告案件15件、専決処分承認案件5件、条例関係3件、その他案件4件、平成29年度一般会計補正予算案など補正議案4件の合計32件であります。

以上、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げまして、  
所信説明といたします。



平成29年3月議会定例会以降の行政一般報告

# 行政一般報告編

～ 3月議会定例会以降の行事等について ～

# 平成29年3月議会定例会以降の行政一般報告

## 目 次

|   |    |
|---|----|
| (1)チャレンジデー2017 .....                    | 16 |
| (2)マンガアート展.....                         | 16 |
| (3)横手市総合交流促進施設「金沢孔城館」オープニングセレモニー .....  | 16 |
| (4)真人公園さくらまつり .....                     | 17 |
| (5)増田小学校の農業体験交流学習 .....                 | 17 |
| (6)一夜限りの桜ライトアップショー .....                | 17 |
| (7)雄物川さくら祭り2017 .....                   | 18 |
| (8)2017「大森産ブドウのワイン」新酒発表記念パーティー.....     | 18 |
| (9)芝桜いっぱい運動.....                        | 18 |
| (10)2017芝桜フェスタ.....                     | 19 |
| (11)梨木公園のこいのぼりの掲揚について .....             | 19 |
| (12)雪捨て場クリーンアップ .....                   | 19 |
| (13)自然豊かな地域づくり事業(芝桜関連)について.....         | 20 |
| (14)春のクリーンアップ(春季道路一斉清掃) .....           | 20 |
| (15)山菜王国づくり事業について .....                 | 20 |
| (16)東京大雄会総会.....                        | 21 |
| (17)雪捨て場クリーンアップ .....                   | 21 |
| (18)市内商工団体及び主要企業に対する高卒求人要請について .....    | 21 |
| (19)後三年合戦関連遺跡金沢柵公開講座.....               | 22 |
| (20)増田 佐藤家住宅・旧松浦家住宅 重要文化財指定記念講演会.....   | 22 |
| (21)横手を学ぶ郷土学総合テキスト「よこてだいすき」の刊行について..... | 22 |

## 平成29年3月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局                        | 概 要 等  |
|-----------------------------|--|
| <b>まちづくり推進部</b>             | <p><b>(1)チャレンジデー2017</b></p> <p>5月31日、横手市全地域一丸となって取り組んで5年目となる「チャレンジデー2017」が行われました。今年是全国63市1区51町13村の合わせて128自治体が参加し、秋田県は3年連続となる全25市町村が参加しました。</p> <p>当市ではこのチャレンジデーを健康づくりや生涯スポーツの奨励、地域コミュニティの醸成に加え、有事の際の情報伝達訓練として位置付けており、地域の安心安全にも寄与するためにも、今後も積極的に取り組んでまいります。</p>   |
| <b>まちづくり推進部</b>             | <p><b>(2)マンガアート展</b></p> <p>増田まんが美術館休館に伴う移動特別企画展を、4月22日から5月14日までの日程で、旬菜みそ茶屋「くらを」を会場に開催し、計331人のお客様が複製原画のアートな世界を堪能しました。</p> <p>これは、増田まんが美術館休館中でも移動特別企画展を開催することにより、増田まんが美術館の存在をPRするとともに、リニューアル工事完成後は、増田の町並みと一体的な観光拠点を目指していくため、今後も随時開催していくものです。</p> <p>今回の企画展は、過去2年間に収蔵した大部数収蔵作家4名(矢口高雄氏、小島剛夕氏、能條純一氏、東村アキコ氏)の複製原画約400点を展示したもので、老若男女問わずに楽しめる内容となっており、親子孫三代で訪れる姿がこれまでの企画展よりも多く見受けられました。</p> <p>また、複製原画とは思えない展示品を前にその複製技術に関心を持ち、現場スタッフへ質問する光景なども見られ、これまでの企画展とはひと味違う雰囲気の企画展となりました。</p> |
| <b>まちづくり推進部<br/>(横手地域局)</b> | <p><b>(3)横手市総合交流促進施設「金沢孔城館」オープニングセレモニー</b></p> <p>4月6日、横手市総合交流促進施設「金沢孔城館」の完成を祝うオープニングセレモニーが、一般参加者約50名と関係者約20名の参加のもと同館で開催されました。</p> <p>「カリヨンの鐘」の音で開始されたセレモニーでは、市長・市議会議長・金沢地区市民地域会議議長・金沢公民館整備検討委員会委員長・金沢婦人会会長がテープカットを行いました。また、職員の案内により施設内の見学会も行われました。</p>  |

## 平成29年3月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局                              | 概 要 等   |
|-----------------------------------|---|
| <b>まちづくり推進部</b><br><b>(増田地域局)</b> | <p><b>(4)真人公園さくらまつり</b></p> <p>日本のさくら名所100選である真人公園では、4月22日から5月5日まで2週間にわたり、毎年恒例のさくらまつりが一般社団法人増田町観光協会の主催で開催されました。今年は早くから暖かい日が続き、4月25日にはさくらの花が満開を迎えました。期間中は天候にも恵まれ、約4万5千人の花見客が公園を訪れるなど、昨年を上回る大盛況となりました。</p> <p>また、4月29日に行われた名物行事「たらいこぎ競争」は、散り始めの時期と重なり、曇り空の下、出場した選手が多くの観客の声援を受けて、懸命にたらいをこいでいました。</p>   |
| <b>まちづくり推進部</b><br><b>(増田地域局)</b> | <p><b>(5)増田小学校の農業体験交流学習</b></p> <p>増田小学校5年生の児童39人が4月24日、県立増田高等学校であきたこまちの種まき体験を行いました。この事業は、子どもたちに食と農の大切さを学んでもらおうと、平成16年から実施しているものです。</p> <p>地元の婦人会なども協力し、「ひと粒の種から、ごはんになるまで」をテーマに、春の「種まき、田植え」、夏の「生育調査」、秋の「稲刈り」を経て「育てたお米を食べよう！」までの全6回の内容で行われます。</p> <p>当日は、県立増田高等学校農業科学科3年生の生徒が講師となり、手作業で種まきを行った後、手作業と比較するために最新の機械による実演も行われました。</p> <p>子どもたちは、高校生に教わりながら丁寧に種をまき、楽しい作業体験をとおして1年間の学習交流をスタートさせました。</p>  |
| <b>まちづくり推進部</b><br><b>(平鹿地域局)</b> | <p><b>(6)一夜限りの桜ライトアップショー</b></p> <p>浅舞公園で4月22日夜、今年で6回目となる「一夜限りの桜ライトアップショー」が開催されました。初夏には80種、50万本のあやめが咲き誇る公園ですが、園内には 50本のソメイヨシノやシダレザクラが植えられており、浅舞公園の多彩な魅力をより多くの人に知っていただくよう、平鹿町観光協会が平鹿地域づくり協議会の協力を得て、元気の出る地域づくり事業のひとつとして実施したものです。</p> <p>今年からLEDライトを40個に増やし、音楽に合わせて赤、ピンク、ブルー、緑などに彩られた桜が幻想的な雰囲気を醸し出しました。</p> <p>園内の桜は5分咲きでしたが、市内外から訪れた多くの来場者が桜のライトアップショーに酔いしれました。</p> <p>また、特設ステージでは地元有志による寄せ太鼓、歌謡ショー、殺陣パフォーマンスが披露され、多くの来場者に楽しんでいただきました。</p> <p>今後も、このイベントが地域の春の風物詩として定着するよう取り組んでまいります。</p> |

## 平成29年3月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局                         | 概 要 等  |
|------------------------------|--|
| <b>まちづくり推進部<br/>(雄物川地域局)</b> | <p><b>(7)雄物川さくら祭り2017</b></p> <p>4月15日から5月7日まで、雄物川民家苑木戸五郎兵衛村を会場に、「雄物川さくら祭り」が開かれました。</p> <p>地域の若者有志で構成する「おもしろ実行委員会」が主催したものです。</p> <p>オープニングセレモニーでは、実行委員が扮する花咲か爺さんが、桜や古民家を瞬時にライトアップすると約200人の来場者からは、大きな歓声がおこり、好評をいただきました。</p> <p>期間中は、悪天候時を除き、毎日午後6時30分から9時まで会場がライトアップされ、訪れた方々は普段とは異なる幻想的な情景を楽しんでおりました。</p> |
| <b>まちづくり推進部<br/>(大森地域局)</b>  | <p><b>(8)2017「大森産ブドウのワイン」新酒発表記念パーティー</b></p> <p>5月23日に、これまで「大森ワイン」のネーミングでご愛飲いただいた大森ワインが「大森産ブドウのワイン」にリニューアルし、その発売記念パーティーがさくら荘で開催されました。生産者やこれまで大森ワインに親しんでいたワインファンなど179人が参加し、地元食材の料理とともにリニューアルした新酒を堪能しました。新酒は、これまで以上の味わいとなり、フレッシュな辛口、さわやかな甘口の味比べをしながらワイン談義に花を咲かせました。</p>                                    |
| <b>まちづくり推進部<br/>(大森地域局)</b>  | <p><b>(9)芝桜いっぱい運動</b></p> <p>4月22日に、大森リゾート村の芝桜フェスタ会場において「芝桜いっぱい運動」を実施しました。この行事は、昨年「ネキリムシ」の食害で大量の芝桜が死滅したため補植する必要が生じましたが、その補植そのものをイベントにしたものです。</p> <p>3週間前から地元住民を中心に花苗の提供や植栽手伝いを呼びかけたところ、当日は保育園児や老人クラブ会員を含む250人以上の皆様からご協力いただき、5千株の苗を植えることができました。</p>   |

## 平成29年3月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局                               | 概 要 等  |
|------------------------------------|--|
| <b>まちづくり推進部</b><br><b>(大森地域局)</b>  | <b>(10)2017芝桜フェスタ</b><br><p>5月13日から5月21日までの9日間、大森リゾート村で、今回で12回目となる「2017芝桜フェスタ」を開催しました。昨年のネキリムシによる食害の影響もあり、なかなかきれいに咲きそろうことはできませんでしたが、地元住民の皆様の芝桜を大切に思う気持ちを感じていただき、来年以降の復活に期待を寄せていただきました。</p>   |
| <b>まちづくり推進部</b><br><b>(十文字地域局)</b> | <b>(11)梨木公園のこいのぼりの掲揚について</b><br><p>4月10日から5月12日までの間、桜と共に悠々と空を泳ぐこいのぼりを楽しんでもらおうと、梨木公園の池に約80匹のこいのぼりを掲揚しました。</p> <p>市民の皆様から、役目を終えて家庭で眠っているこいのぼりを提供いただき、平成5年から行っている取り組みです。</p> <p>今年は、夜桜を更に楽しんでいただけるよう、太鼓橋二か所(愛愛橋・恋恋橋)の欄干や周囲の遊歩道へイルミネーションの点灯も行いました。</p> <p>休日には市内外から訪れた花見客や散歩を楽しむ地域の人たちが、水面に映る桜をバックにこいのぼりの写真を撮るなどして、賑わいを見せていました。</p> <p>引き続きこいのぼりの提供をお願いしながら、今後も事業を継続し、多くの方々に楽しんでもらいたいと考えております。</p> |
| <b>まちづくり推進部</b><br><b>(十文字地域局)</b> | <b>(12)雪捨て場クリーンアップ</b><br><p>5月14日早朝より、十文字地域の雪捨て場として利用した、皆瀬川古内河川敷のクリーンアップを行いました。</p> <p>「雪捨て場を利用前よりきれいにしよう」と十文字地域局が中心となり呼びかけ、地域の方々や企業の社員、地域局職員ら約100人が参加し、約1時間、汗を流しました。</p> <p>この活動により、可燃ごみ110キログラム、不燃ごみ100キログラム、合計210キログラムを拾い集め、きれいな河川敷に戻すことができました。</p>  |

## 平成29年3月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局                        | 概要等   |
|-----------------------------|---|
| <b>まちづくり推進部<br/>(山内地域局)</b> | <p><b>(13) 自然豊かな地域づくり事業(芝桜関連)について</b></p> <p>自然豊かな地域づくり事業の一つとして、5月27、28の両日、大松川ダム公園を会場に「2017さんない芝桜まつり」が行われました。新緑の山内の豊かな自然と多彩なイベントにより、会場は多くの来場者で大いに盛り上がりました。</p> <p>また、平成19年度から「さんない芝桜事業推進会議」と協働で行ってききました芝桜園再生を目標とした管理育成事業が、今年も行われております。参加者の高齢化などにより、従来の除草活動を維持するのは難しくなっておりますが、管理計画の見直しを図り、規模を縮小しての活動を継続してまいります。</p>                  |
| <b>まちづくり推進部<br/>(山内地域局)</b> | <p><b>(14) 春のクリーンアップ(春季道路一斉清掃)</b></p> <p>4月23日早朝、地域内の国道・県道のほか、幹線道路沿線において、地域住民総出で春のクリーンアップを実施しました。</p> <p>これは、環境美化に対する意識の高揚を図るために行っているもので、今回で33回目となります。当日は、1,064人の市民が参加し、燃やすごみ970kg、燃やさないごみ400kgが集められました。</p> <p>8月6日には夏のクリーンアップも予定しており、今後も地域の環境をよりよくするための活動を継続してまいります。</p>   |
| <b>まちづくり推進部<br/>(山内地域局)</b> | <p><b>(15) 山菜王国づくり事業について</b></p> <p>5月10日、山菜王国づくり事業の一環として、黒沢わらび園2.66ha、三又わらび園2.0haの火入れを、各生産組合と山内地域局が共同で実施しました。</p> <p>両わらび園とも5月21日から営業を開始しており、終期は「黒沢わらび園」は6月下旬、「三又わらび園」は7月下旬の予定です。</p> <p>また、道の駅さんない「農香庵」やあいのの温泉直売所「山菜恵ちゃん」では、5月20、21日に「山菜まつり」を開催し、山菜を買い求める多くのお客様で賑わいました。</p> <p>このような活動を通じながら、山内地域の宝である山菜を活用した所得の向上を目指してまいります。</p> |

## 平成29年3月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局                        | 概 要 等   |
|-----------------------------|---|
| <b>まちづくり推進部<br/>(大雄地域局)</b> | <p><b>(16)東京大雄会総会</b></p> <p>4月8日、「第45回東京大雄会総会」が東京都荒川区のホテルで開催され、約140人の関係者が参加し、交流と親睦を深めました。</p> <p>今年は、45回の記念として大雄会の旗を新調するとともに、旧大雄村の村章に市章のカラーリングを施したピンバッジを作成し、会員に配布しました。</p> <p>また、大雄地域づくり協議会から4人の委員が出席し、これからの地域づくりについての意見が交わされ、今後、ますます交流を深めていくことを確認しあいました。なお、出席者からは故郷の人口減少に対する心配の声がありました。</p> <p>会場内に設けた物産コーナーでは、ふるさとの漬物や菓子などの特産品が懐かしそうに買い求められ、大好評を博しました。</p> |
| <b>まちづくり推進部<br/>(大雄地域局)</b> | <p><b>(17)雪捨て場クリーンアップ</b></p> <p>5月14日早朝より、大雄地域の雪捨て場として使用していた地域福祉センター北側駐車場のクリーンアップを行いました。</p> <p>この駐車場は、消防訓練大会やサマーフェスティバルなど、地域の大切なイベント会場となっています。</p> <p>地域の方々や地域局職員ら約40人が参加し、きれいなイベント会場を取り戻すことができました。</p>   |
| <b>商工観光部</b>                | <p><b>(18)市内商工団体及び主要企業に対する高卒求人要請について</b></p> <p>5月23日、横手市・秋田県平鹿地域振興局・横手地区高等学校長会・横手公共職業安定所が連携し、市内の商工団体及び主要企業2社に対して、新規学卒者等、若者の求人要請を実施しました。</p> <p>少子高齢化や若者の県外流出による人口減少が大きな問題となっており、若者の地元定着を図ることは、企業の発展及び地域社会の形成のために最も重要な課題です。この要請活動は、若年者の雇用の確保に向け、継続して実施しているものです。</p>   |



## 平成29年3月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局         | 概 要 等   |
|--------------|---|
| <b>教育総務部</b> | <p><b>(19)後三年合戦関連遺跡金沢柵公開講座</b></p> <p>3月11日(土)、横手市交流センター「Y2 ふらざ」において、金沢柵公開講座を開催し、300名の皆様が受講しました。</p> <p>平成28年度に発掘調査した金沢柵推定地の金沢安本館や美郷町の鎧ヶ崎城跡の調査報告を行ったほか、青山学院大学の岩井先生から金沢城跡出土の中国産白磁・青磁について、愛知学院大学の中野先生から金沢城跡出土の古瀬戸について、また、平泉町役場の八重樫先生より金沢柵の場所についての講演をいただきました。</p>                          |
| <b>教育総務部</b> | <p><b>(20)増田 佐藤家住宅・旧松浦家住宅 重要文化財指定記念講演会</b></p> <p>3月12日(日)、増田町「くらを」において、横手市増田伝統的建造物群保存地区内の佐藤家及び旧松浦家が、2月23日に重要文化財指定を受けたことを記念し講演会を開催しました。</p> <p>127人が参加した講演会第1部では、文化庁文化財部主任文化財調査官・武内正和氏、奈良文化研究所文化遺産部長・林良彦氏から重要文化財の指定の意義と価値について講演をいただきました。第2部では、講演いただいたお二人を講師として、現地での見学会を行いました。</p>       |
| <b>教育総務部</b> | <p><b>(21)横手を学ぶ郷土学総合テキスト「よこてだいすき」の刊行について</b></p> <p>横手を学ぶ郷土学事業の一環として、学校において副読本として活用できるテキスト「よこてだいすき」と「横手市の文化財」を市内の全小中学校の児童・生徒と教職員、図書館等に配布しました。</p> <p>「よこてだいすき」は、小学校に入学した日から、中学校までの色々な場面で活用でき、大人になってからも手元に置いてもらえるよう、特色を備えた総合テキストです。いつでもどこでも「よこてだいすき」と胸を張れる児童生徒を育むために、有効な活用を図ってまいります。</p> |